

「ありがとう 笑顔でかわす良いワナー」 交通安全運動メーンスローガン			
久が原地区管内	人口	男	11,878人
		女	11,937人
	計	23,815人	
	世帯	10,220世帯	
平成9年3月1日現在			



発行：わがまち大田久が原地区 推進委員会
編集：地域情報紙「くがはら」 編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所 〒146大田区久が原2-19-3 (37752) 4271

久原小学校防災倉庫を初公開

～自治会関係者による見学会開催～

「住みよい地域社会」の実現をめざし活動しています
 大田区では、二十一世紀に
 向けた「大田区長期基本計
 画」に基づき、「安全で快適
 な、活力と思いやりのある、
 文化・福祉都市」を実現させ
 るために、地域のまちづくり
 を、地域住民自らの問題とし
 て、共に考えていく取り組み
 をしています。
 この委員会は、地域に密着
 した問題を話し合い、解決す
 る場として、重要な役割を果
 たしており、また、地域住民
 相互の連帯と交流の輪を地域

大規模地震が起き
 た時の住民の皆さん
 の第一次避難所に、
 区から指定されてい
 る久原小学校で、二
 月三日「備蓄倉庫」
 が初めて自治会関係
 者に公開されました。
 備蓄品の内容は、
 乾パン、アルファ化
 米、天然水、粉ミル
 分、毛布、簡易トイレ
 等の二カ所にも同じ備蓄倉庫
 が設けられています。
 また、同日、久原小学校体
 育館で、区職員による「避難
 訓練」も開かれました。

わがまち大田久が原地区推進委員会

する広聴の場で、区政に対す
 る広報・広聴の場として位置
 付けています。
 また、委員会は、地域住民
 のわがまち意識を醸成する方
 策として、地域情報紙「くが
 はら」を発行し、久が原の歴
 史や各所の紹介、防犯、防火
 のほか、警察・消防・清掃事
 務所及び区からの計四十名か
 らなっており、毎月一回、特
 別出張所会議室において、委
 員会を開催しています。
 会議の性格は、区及び各行
 政機関の事業などのPRや自
 治会などの地域内団体の情報
 交換を行う広報の場と、警
 察・消防・区などの行政機関
 相互の連帯と交流の輪を地域

のままでかけつけた人々、約
 千五百人が、二日間の生活を
 支えるには十分といった量で
 す。見学した自治会関係者は
 目の当たりにした備蓄の品々
 に安堵したようでした。
 久が原地区では、久原小は
 東自治会、七中は南自治会、
 松仙小は西自治会と道々橋自
 治会と、一次避難所は一応区
 分けされています。久原小以
 外の二カ所にも同じ備蓄倉庫
 が設けられています。
 また、同日、久原小学校体
 育館で、区職員による「避難
 訓練」も開かれました。

- 敬称略
- △平成八年度区政功労者
 - 民生委員 新保 靖男 久2―26―22
 - 民生委員推薦委員 三木 兼吉 久2―8―18
 - 区立保育園歯科医 吉田 孝夫 久3―42―14
 - 安田 定雄 久6―21―2
 - 区立学校教職員功績顕著な者 下條 博 前松仙小学校長 武田 公夫 久2―27―8
 - △保護司関係
 - 関東地方更生保護委員会 委員長表彰 細金 英男 久6―7―26

受賞 おめでとうございます

久が原地区に住んでいて、万
 一の時には真つ先にかけて
 る「緊急配備職員」による訓
 練で、テント開設および発電
 機の始動などを行いました。
 久が原地区には十八人の担当
 職員がいます。三避難所のう
 ち、久原小は緊急時には医療
 救護所にもなるので、区職員
 指導による三角巾の巻き方の
 指導がありました。

- △民生委員・児童委員関係 安倍 健 久4―13―14
- 都知事規制表彰 中島 ナミ 久5―4―15
- 都知事特別功労賞 三部 ハナ 久1―6―19
- △納税関係 東京納税貯蓄組合 総連合会長表彰 遠藤 孝一 久3―34―12
- 安倍 健 久4―13―14
- 東京都税務功労者感謝状 葉山 次郎 久3―34―16
- 大田区納税功労者表彰 富田 稔 久4―5―19
- △青少年表彰 大森第十中学校美術部 模範青少年部門「団体」

三月十日、卒業記念講演会
 が大森十中体育館で全校生徒
 参加で開かれました。今回は
 いの要因となり、面白さが倍
 増しました。落語が終わると、
 五人の子ども達に野球パン
 ツアイテムショウを実施させ
 たりしました。本当にあっ
 という間の一時間でした。
 障害者に対する自分の役割
 のあり方、傷害をもつ人と接
 した時のあり方、さらに「何
 を望み、何を想っているかを
 考えてほしい」という福石先
 生から私達へのメッセージ、
 これらのことは忘れてはいけ
 ないことだと思えます。「自
 分の本当の気持ちを伝え合え
 る友達を作ってください」と
 いう終わりの言葉は、健常者
 の私達に対して、激をとばし
 てくださったのかもしれない
 人。

障害者とのふれあいを求めて

「大森第十中学校卒業記念講演会」
 騒ぎのシーンが何度かありま
 した。私達には、その姿も笑
 いの要因となり、面白さが倍
 増しました。落語が終わると、
 五人の子ども達に野球パン
 ツアイテムショウを実施させ
 たりしました。本当にあっ
 という間の一時間でした。
 障害者に対する自分の役割
 のあり方、傷害をもつ人と接
 した時のあり方、さらに「何
 を望み、何を想っているかを
 考えてほしい」という福石先
 生から私達へのメッセージ、
 これらのことは忘れてはいけ
 ないことだと思えます。「自
 分の本当の気持ちを伝え合え
 る友達を作ってください」と
 いう終わりの言葉は、健常者
 の私達に対して、激をとばし
 てくださったのかもしれない
 人。

【第40回】大田区子どもボランティア
 へのお招き

日時 四月二十七日(日)
 午前十時～午後三時
 会場 洗足池公園・桜山
 会場ではアスレチック・探
 検コーナー・手づくりコーナ
 ー等多様な催物があります。
 今年は大田区政五十周年事
 業として、記念植樹もします。
 警察署の騎馬隊・白バイ隊、
 消防署のレスキュー隊も参
 加します。
 雪谷高校のチアリーダーズ
 グ、日本武術連盟の真剣居合
 斬りなど、たっぷりお楽しみ
 いただけます。一日を楽しく
 遊びましょう。

△大田区保健衛生協力員及び
 大田区伝染病予防委員関係
 ○区長感謝状

天野 重夫
 三木 清一
 葉山 次郎
 大内志津子
 伊藤 英子
 増田伊之助

中島 春雄
 野中 鯛一
 遠藤 孝一
 中嶋 敏輝
 内藤百合子
 醍醐 康雄

（十中PTA 徳富朋子）



▲1月19日 はれ 松仙小学校 校庭

もちつき大会



▲1月26日 はれ 久原小学校 校庭

香川の風物詩 水鳥

香川に近ごろ、カモの一群が飛来したことを知りました。区内では、冬になりますと多摩川や公園などの池にも数羽の群れが見られるそうですが、香川は護岸工事も進み管理が行きどどいて、水もきれいで澄んできましたので、カモたちも、逸早くやってきたので

しょう。初め、一群でありましたが、瞬く間に二群三群と、多くなりました。まるで、友を呼ぶとでもいうように見えました。カモたちは、川底の藻などをついばみながら、泳いでおりましたが、時折り、橋の上から投げた餌に群がるなど、にぎやかでした。このような姿を興味深く見ておりましたところ、その後半月過ぎますと、めっきり数



はがぎきの和

平成七年四月より、久が原会館ではがき教室「いちよう」が始まりました。(毎月第二木曜日午前九時三十分から十一時四十分) 絵心や才能は全く無関係、しかも仲間は全員何十年ぶりかで絵筆を持った人達ばかりで最初は○△□からでした。現在、出上来上がった作品を久が原西郵便局内に展示させていただいております。お立ち寄りの際にはぜひ、ご覧下さい。はがきには、気持ちのまま

に絵を描いて、言葉添えてポストに入れるだけで友として五十円切手を一枚貼って描き絵一枚で仲間の「和」そして地域から社会への「輪」と心の「わ」が広がります。心はいつも「いちよう」しています。 ※ サークル名「いちよう」とは一枚のはがき「一葉」という意味です。 サークル「いちよう」久3―32―10 矢田 好子

が減ってしまいました。そして、残った一群が、ゆるやかに静かに泳いでいるばかりとなりました。カモは、冬の候鳥なので、あの群れは、きつと北国に旅立ったのでありましよう。 地域を流れる唯一の呑川の自然の中に見受けた、印象深いひとつの風物詩であります 木下ひろ子

ボウリング大会に参加して 平成九年三月八日(主) 池上トイボール



私は、三月八日に池上のトイボールで行われた、青少対のボウリング大会に、父と兄と妹と私の四人で参加しました。 今年になって二回目のボウリングでしたが、いつもよりは、調子はよかったと思いましたが、どうしても、一本残ってしまつてストライクにならなりました。 そんな時は、なかなか、スベることが何回かありました。 アもどれず、とてもくやしかったです。 私と一緒に投げていたお兄ちゃんや友人たちは、ストライクやスベアをいっぱい出していたので、とても、うれやましかつたです。 私も、もつと練習して、ストライクをした。和気あいあいのうちに、活動方針や、事業計画をたて、楽しく語らい、親睦を深めました。 会では、季節ごとの集いや、研修などの様々な催しを企画してあります。老若男女、共に手を携えて地域発展のために、更に多くの方々の参加を呼びかけております。

「久が原郷愛会」だより (久原小五年 志田 有美) 加賞しかもらえなかつたので、次の時は、賞をとれるようにがんばりたいと思います。 久が原郷愛会(会長 宮田 篤二)は、久が原特別出張所の区域内住民の中堅となつて、共に住む人々との相互の親睦をはかりつつ、公共のために協力を推進していくこととしております。

去る二月十一日、久が原会館で郷愛会の絵会を開催しました。 和気あいあいのうちに、活動方針や、事業計画をたて、楽しく語らい、親睦を深めました。 会では、季節ごとの集いや、研修などの様々な催しを企画してあります。老若男女、共に手を携えて地域発展のために、更に多くの方々の参加を呼びかけております。

今後も、共に励まし合いながら活動の輪を広げて参りたいものと願っております。 (葉山 次郎)

編集後記

○大田区政五十周年の輝かしい年を迎え、挙げて、もちろんの記念イベントが催されており、地域に在りましても、共に祝い、共に喜びとするところであります。 ○「くがはら」二十八号は、地域における防災の案内をはじめ、まちの環境浄化推進を取り上げました。 ○いっぽう、この春の催しや、皆様から寄せられました記事などで多彩な紙面となりました。今後とも、皆様からのコメントをお待ちしています。 (かわまた)

委員会からのお知らせ

었습니다。 その結果、選定地及び作品数は、百六景・百二十一作品となり、また、製作者は、専門画家、区立小・中学校教員、区内美術のサークル関係者、景」が制作されてから、約三十年が経過しました。また、本年三月には、大田区が誕生してから五十周年を迎えまして、久が原地区からは、「呑川本村橋より道々橋 坂入忠之氏作」「久が原住宅街 西田藤次郎氏作」及び「東調布公園 師岡正子氏作」の三作品が選ばれました。

久が原東自治会の区域内住の六十歳以上の方を対象に

「新大田区百景」が完成しました。 「新大田区百景」が完成しました。 久が原5丁目在住 木下ひろ子

久原東寿会 へのお誘い

「新大田区百景」が完成しました。 久が原5丁目在住 木下ひろ子

「新大田区百景」が完成しました。 久が原5丁目在住 木下ひろ子